



お元気ですか
志村 たかよし です

第503号 2010年7月25日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

企画総務委員会が視察

東京湾臨海部基幹的広域防災拠点（有明の丘地区）



対策本部の会議室で、職員から説明を受けました。

7月13日、企画総務委員会で「東京湾臨海部基幹的広域防災拠点」（ながい名前ですね）を視察しました。

場所は、ゆりかもめの「有明」駅のすぐ前にある「有明の丘」にあります。

首都直下型地震が起きたとき、政府の「緊急災害対策本部」が設置されることになります。

施設には「防災体験学習施設」があり、入園料・入館料は無料です。

問い合わせ 3546-2180



今回の視察は、ゆりかもめ「有明」駅（右はし）のすぐ前にある「本部棟」（○かこみ）を訪問しました。国営公園は、ヘリポートやヘリコプターの駐機場（1, 2, 3...7と番号がふってあります）となっています。「対策本部」が設置される本部棟に隣接して「癌研有明病院」があり、救急医療などの対応が連携してとれるようになっています。

左の写真は「防災体験学習施設」にある「災害体験ゾーン」です。その体験ツアーの中心は…。
エレベータに乗ったときに首都直下型の地震が起こり、避難をします。
目の前に現れるのは、被災した街の惨状でした。



の脱出
た薄暗
秀導灯と
す。

「被災地」ではDSゲーム機を使つてのクイズを解きながら避難場所まで移動します。
さて、あなたは生き残れるか…?

その他、映像ホールや防災ギャラリーもあり、楽しみながら防災体験ができるように工夫されています。

委員会では、同施設の地下にある「免震構造」を視察し説明を受けました。

写真上は、鉛で作られたダンパーです。地震の揺れを鉛ダンパーの伸び縮みで生まれる熱によって解消する装置です。「ハーっ」という感じでした。

写真下は、「積層ゴム一体型U型ダンパー」です。ゴムが揺れを吸収するというのは、実感として分かりました。

機会があったら、もう一度言ってみたい施設です。



「意見」を「要諦」まで、お気軽に「連絡ください」(03-6366-0300)

「日中友好協会東京都連合大会」に代議員として参加

7月19日、日本中国友好協会東京都連合会の第59回大会が行われ、私(志村)は中央区支部の代議員として参加しました。

討論では、太極拳、中国語講座、中国映画鑑賞、中国料理教室、きりえ、中国旅行：などなど、さまざま活動が紹介されました。

大会は、平和活動や中国人戦争被害者の戦後補償を支援する活動などの強化とともに仲間づくりを旺盛に取り組むことを確認しました。



開会の挨拶をする都連会長の石子順氏(文筆家、日本漫画家協会参与)

ブログを毎日更新しています。「志村たかよしワールド」と検索してごらんください。